

各位

大分コンビナート地区における石油コンビナートの立地基盤整備支援事業の実施について

JXTGエネルギー株式会社(社長:大田 勝幸、以下「JXTGエネルギー」と昭和電工株式会社(社長:森川 宏平、以下「SDK」)は、大分コンビナート地区(大分県大分市)におけるコンビナート連携強化策を、石油供給構造高度化事業コンソーシアムが公募している「平成30年度石油供給構造高度化事業費補助金(石油コンビナートの生産性向上及び強じん化推進事業のうち石油コンビナートの立地基盤整備支援事業)に係る補助事業」として応募しておりましたが、下記のとおり採択されましたので、お知らせいたします。

「石油供給構造高度化事業費補助金」は、資源エネルギー庁が石油製品供給の中核をなす日本の石油コンビナートの生産性の向上により、国内の石油供給網の維持に必要な経営基盤を確保し、石油を持続的に安定供給しうる体制の整備を目的に制度化したものです。

両社は、本事業を通じて、大分コンビナート地区の石油精製および石油化学等の設備の強みを活かし、国際競争力を有するコンビナートへの発展を目指してまいります。

記

1. 事業概要

- (1) 事業名称 石油精製燃料の高付加価値化事業
- (2) 事業期間 2018年度～2020年度
- (3) 事業場所 大分県大分市大分コンビナート地区
(JXTGエネルギー大分製油所、SDK大分コンビナート)
- (4) 事業内容

事業内容	効果
①プロピレン精留塔の増強	<ul style="list-style-type: none">・ プロピレン精留塔から分留されるプロピレンの回収率向上(SDK側メリット)・ プロピレン回収後のガスを製品(プロパン)として販売(JXTGエネルギー側メリット)
②エタンホルダーの新設	<ul style="list-style-type: none">・ SDKのエチレン製造装置から発生するエタンをJXTGエネルギーが製油所内で利用・ JXTGエネルギーが燃料として販売していたブタン留分をSDKのエチレン製造装置で処理することにより石油化学製品を増産

2. 石油コンビナートの立地基盤整備支援事業に参加する事業所の概要

J X T G エネルギー株式会社大分製油所

所在地 大分県大分市大字一の洲1番地1
代表者 大分製油所長 片岡 憲仁
敷地面積 約 1 0 0 万㎡
操業開始時期 1 9 6 4 年 4 月
原油処理能力 1 3 万 6 千バレル/日
主要生産品目 石油製品、石油化学製品（パラキシレン）

昭和電工株式会社大分コンビナート

所在地 大分県大分市中ノ洲2番地
代表者 大分コンビナート代表 竹内 陽一
敷地面積 約 1 7 0 万㎡
操業開始時期 1 9 6 9 年 6 月
エチレン生産能力 6 1 万 5 千トン/年（定期修理実施年）
主要生産品目 石油化学製品（エチレン、プロピレン等）

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

J X T G エネルギー株式会社 広報部

TEL : 0 3 - 6 2 5 7 - 7 1 5 0

昭和電工株式会社 広報室

TEL : 0 3 - 5 4 7 0 - 3 2 3 5